

Q&A

消化管内に多発する発赤隆起，内視鏡所見から考えられる疾患は？

【問題】

症例：40歳代男性。

主訴：皮疹。

現病歴：6カ月前より大腿の皮疹を自覚していた。近医の皮膚科を受診し、生検が施行された。内科的疾患が考えられ、当院へ紹介となった。

現症：咳嗽著明。胸部：両側下肺野にわずかにラ音を聴取する。皮膚：腹部，両側下腿に斑状、褐色の皮疹を認める (Figure 1)。

胸部X線単純写真：両側下肺野に粒状影が認め

られる (Figure 2)。

上下部消化管内視鏡検査：上部では食道胃接合部から胃，十二指腸にかけて，下部では直腸に鮮紅色の大小の隆起が多発していた (Figure 3, 4)。

1. 診断は？
2. 追加すべき検査は？

解答は (916p) に掲載



Figure 1. 褐色の平坦な皮疹が大腿の他、腹部にも認められる。



Figure 2. 胸部単純写真：両側下肺野に粒状影が認められる。

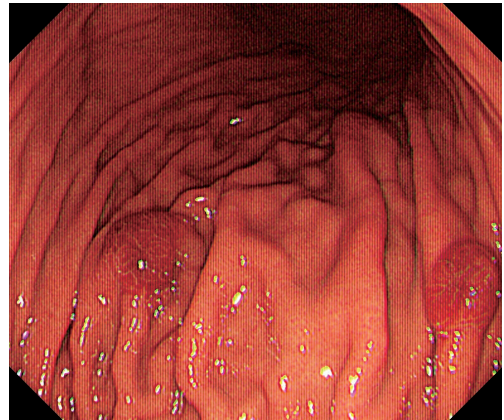


Figure 3. 上部消化管内視鏡所見：胃体中部大彎側に、15mm大の赤色調の隆起性病変が認められる。

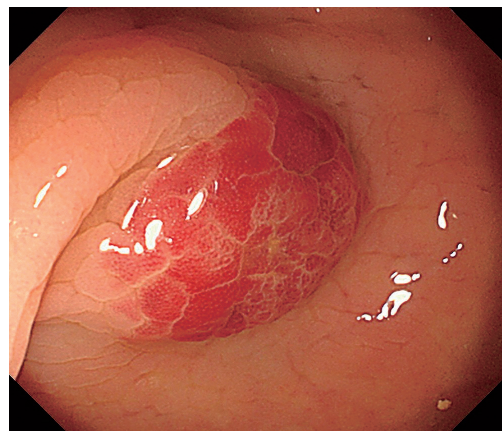


Figure 4. 下部消化管内視鏡検査所見：上部直腸に10mm大の赤色調隆起性病変が認められる。表面構造は保たれている。